

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (2017年度)

法人名	社会福祉法人 光朔会	代表者	理事長 山口 元	法人・ 事業所 の特徴	「その人らしい暮らしの実現」という法人の理念に基づき、地域の方と共に歩みつつ、「利用者中心のケア」を積極的に取り組んでいる。 小規模特別養護老人ホームと併設された明るい色調で統一された、機能的な地域密着型小規模多機能型施設である。地域に密着した施設は、地域の自治会・老人会・児童館を通して、地域の諸行事、お祭りや餅つき大会に参加したり、公民館で健康相談窓口を開催するなど、事業所の特性を生かして貢献するようにしている。季節に応じた外出や同法人で行われる行事への参加で外出の機会を多く持つようにしている。利用者の声に耳を傾け、多くの事にチャレンジをしていくことが、特徴である。
事業所名	小規模多機能ホーム オリンピア神戸西	管理者	平山 陽三		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	1 人	3 人	2 人	0 人	1 人	2 人	3 人	0 人	12 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	—	—	・しっかり取り組んでもらっており、感謝している。しっかりとした計画をたてている。・地域との関わりがよい。開かれた、入っていきやすい施設。	・プランの不十分であることがあるので、利用者のニーズをしっかりと把握し、よりよいサービスが提供できるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	—	—	・自分の家のように入りやすい。開かれた雰囲気がある。地域に馴染んでいる。・匂いや音などは殆ど気にならない。	・利用者が安心して過ごせる環境作り、スタッフが働きやすい環境作りに努め、よりよい雰囲気の多機能にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	—	—	・地域のことをよく理解してくれている。・地域に馴染んでおり、地域から信頼されている。Welcome な雰囲気がある。・地域の方が、「何かあれば、オリンピアへ」と思っているように思う。	・常に、一人ひとりが意識して、いつも笑顔で元気がよく、大きな声で挨拶をしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	—	—	・地域の力を上手く借りることができている。・オリンピアの特徴として、地域の社会資源と繋がろうとしている。外から見ていて、良い取り組みをしていると思う。	・地域に出て行っているメンバーが限られているため、広くいろいろなスタッフが地域に出て行けるように調整していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	・具体例があり、分かりやすい。 ・気兼ねなく意見を言いやすい。 ・施設全体として、連携が取れている。地域とも連携が取れている。	・運推で話し合われた情報を一部のスタッフだけでなく、全スタッフにも周知していく。
F. 事業所の防災・災害対策	—	—	・スタッフが地域の防災訓練に参加し、役割の一端を担ってくれており、感謝している。「災害等があった時はオリンピアに行けば安心だ」と言っている。	・全スタッフがマニュアルを把握し、緊急時に余裕を持って対応できるように努める。